

松山市中心市街地賑わい再生社会実験

湊町三丁目「みんなのひろば」と「もぶるテラス」の効果検証

[概要版]

令和2年3月

松山市

■ 設置趣旨

「みんなのひろば」と「もぶるテラス」は、

『松山市中心市街地賑わい再生社会実験』の一環として設置・運営されました。

● 松山市中心市街地賑わい再生社会実験のねらい

まちなかの低・未利用地（青空駐車場や空き店舗など）
を広場や交流スペースに転用

そこで様々なイベントを実験的に実施

以下の2つの観点から、効果を検証

- ・賑わい再生に向けた効果的・持続的な仕組み
- ・中心市街地の居住環境改善



◀ みんなのひろば
整備前の様子



■ 概要

みんなのひろば

もぶるテラス

運営期間	平成26年11月～平成31年1月	平成26年11月～平成30年11月
面積	約 370 m ²	約 80 m ²
設備	芝生広場、ミニ噴水、土管、 手押しポンプ、ベンチなど	イス・テーブル、ライブラリー、 多目的トイレなど
利用時間	月～金10:00～20:00 / 土日祝日10:00～18:00	
利用形態	一般利用・占有利用（無料）	
利用者数	延べ利用者数：約 22.8万人 約4,900人／月	延べ利用者数：約 9.1万人 約1,800人／月

外観



■ 利用の様子

みんなのひろば

平日



思い思いの時間を過ごす利用者

休日

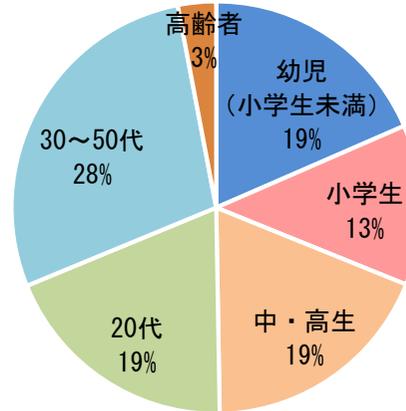
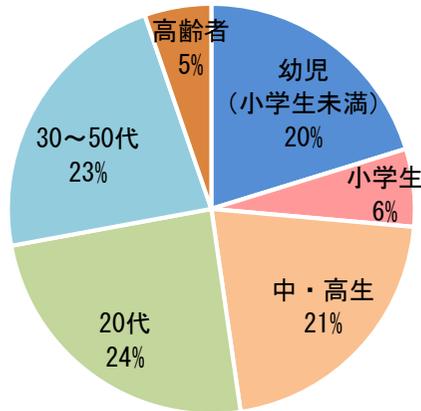


音楽イベントの様子

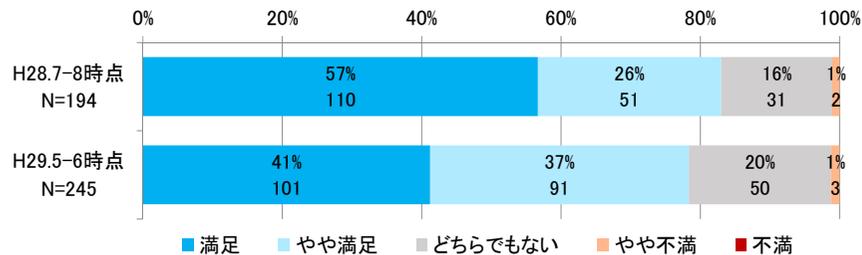
平日

利用者の世代

休日



利用者満足度



もぶるテラス

平日



飲食をしながらつるぐ利用者

休日

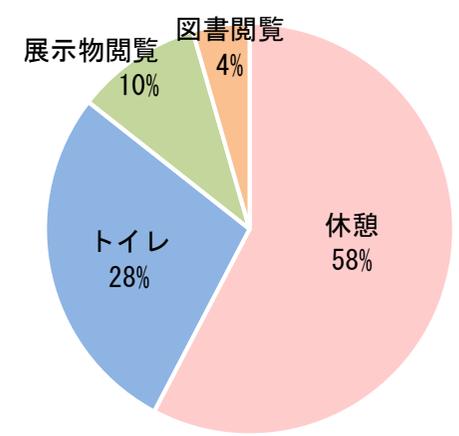
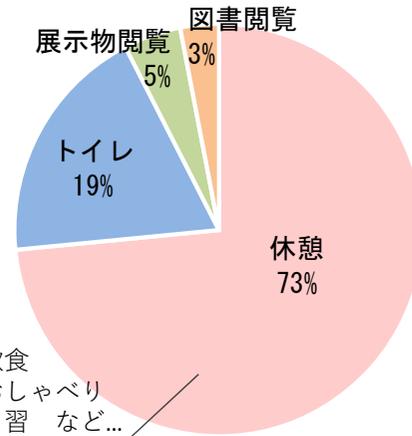


セミナーの様子

平日

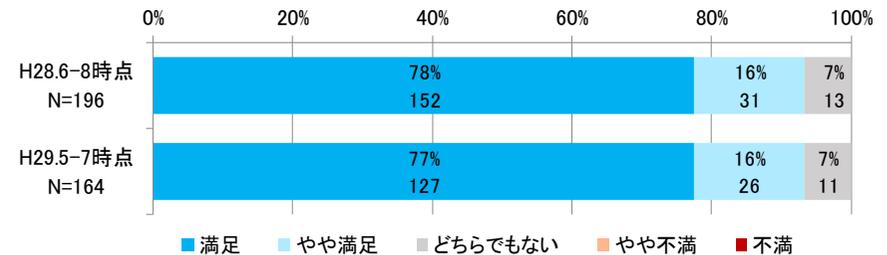
利用者の行動

休日



- ・ 飲食
- ・ おしゃべり
- ・ 自習 など...

利用者満足度



※少数点以下第1位を四捨五入しているため、構成比は100%にならない場合があります

■ イベントの件数・種類

ひろばでは一般公開のイベントが、テラスではグループ活動が多く実施されました。

みんなのひろば

もぶるテラス

83 件

実施されたイベントの件数

865 件

35 件

そのうち、一般の個人・団体が実施した数

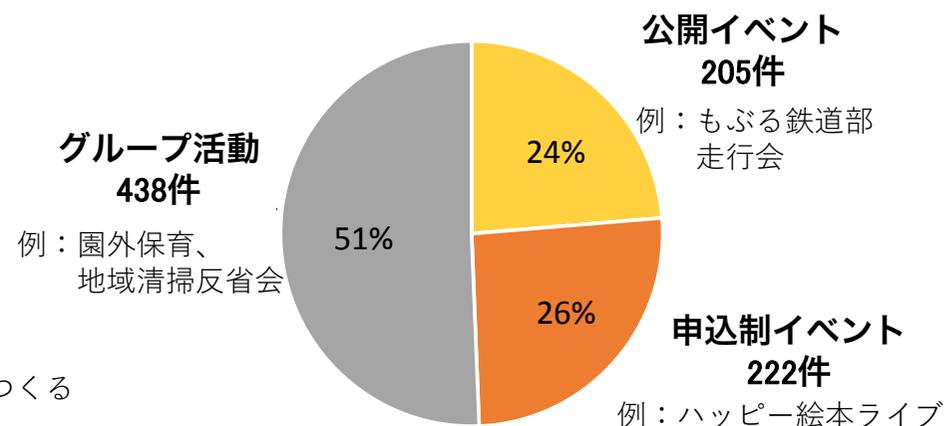
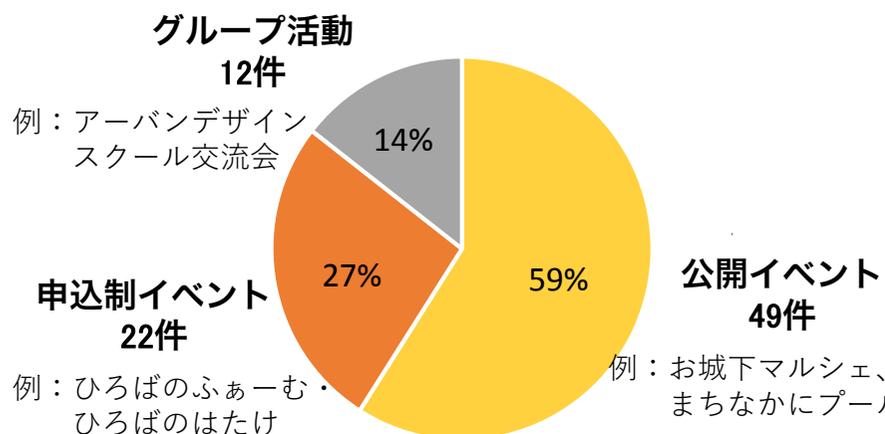
500 件

※これ以外は、社会実験事業の受注者が実施しています

約 2 件

イベント件数の月平均

約 18 件



■ イベントの参加延べ人数ランキング

みんなのひろば

第1位 | お城下マルシェ



第2位 | おさがり
フリーマーケット



第3位 | まちなかに
プールをつくる



第4位 | Early Christmas
Time vol.2



第5位 | 土曜夜市企画



第6位 | ひめキュンライブ



もぶるテラス

第1位 | まちなかてくてく
ハロウィン・クリスマス



第2位 | もぶる鉄道部
走行会



第3位 | 編集入門
ワークショップ



第4位 | ハッピー絵本
ライブ



第5位 | 週末はまちなかで
みんなとまなぼう



第6位 | えいごCafé



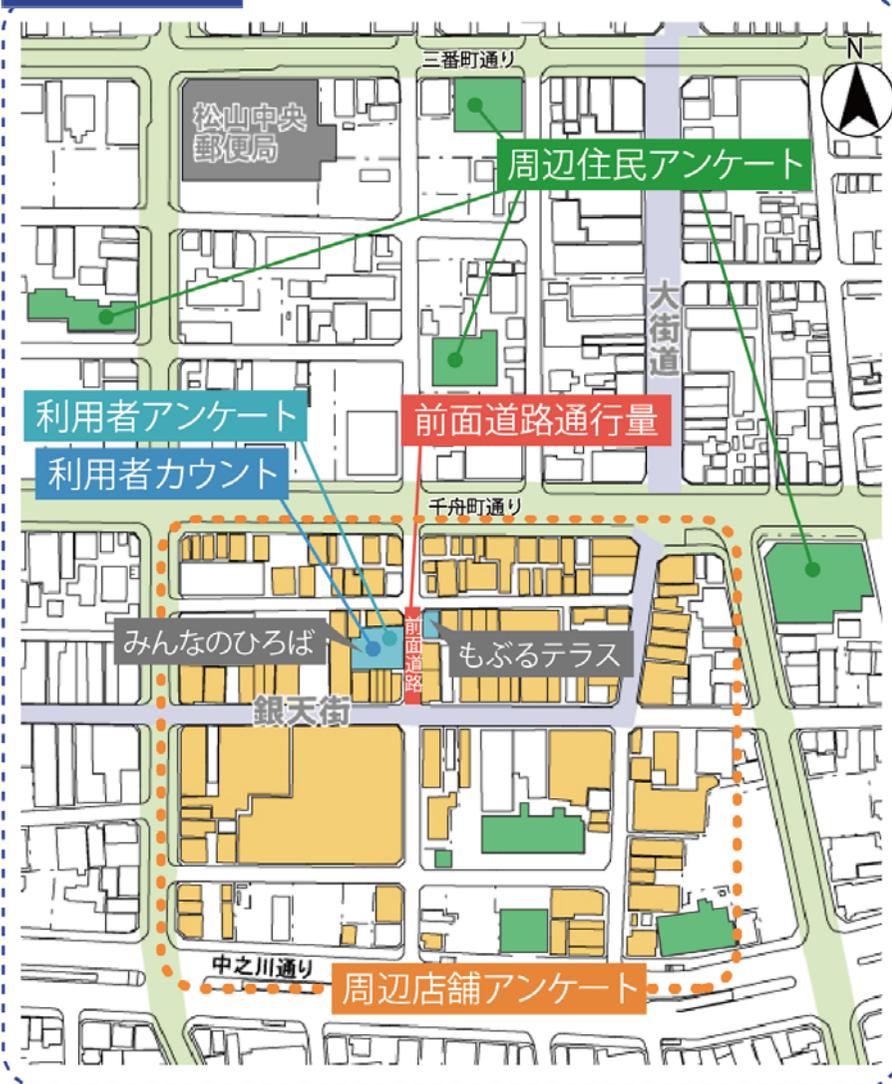
■ 効果検証の考え方

ひろば・テラスの周辺を対象に下記の調査を行いました。

概要版では、調査結果の一部を紹介しています。他の調査結果は本編に記載しています。

※本編については、裏表紙をご確認ください。

歩行滞留者数

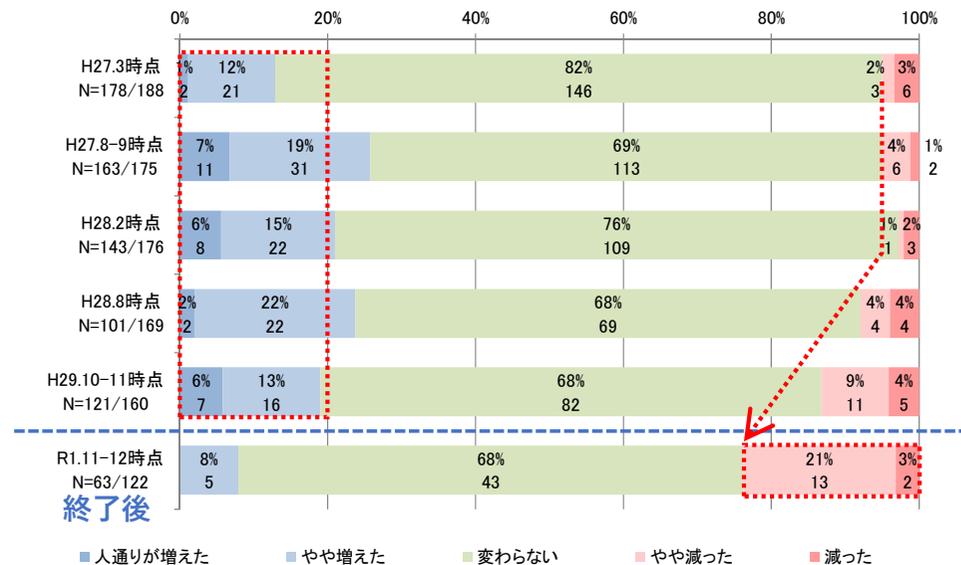


調査結果の例

【周辺店舗からの評価】 人通りの印象

問. ひろば・テラスができる前と現在とで、商業活動・周辺環境にどのような変化があったか／前回の調査以降、どのような変化があったか

資料／周辺店舗アンケート調査 (H27.3、H27.8-9、H28.2、H28.8、H29.10-11、R1.11-12)

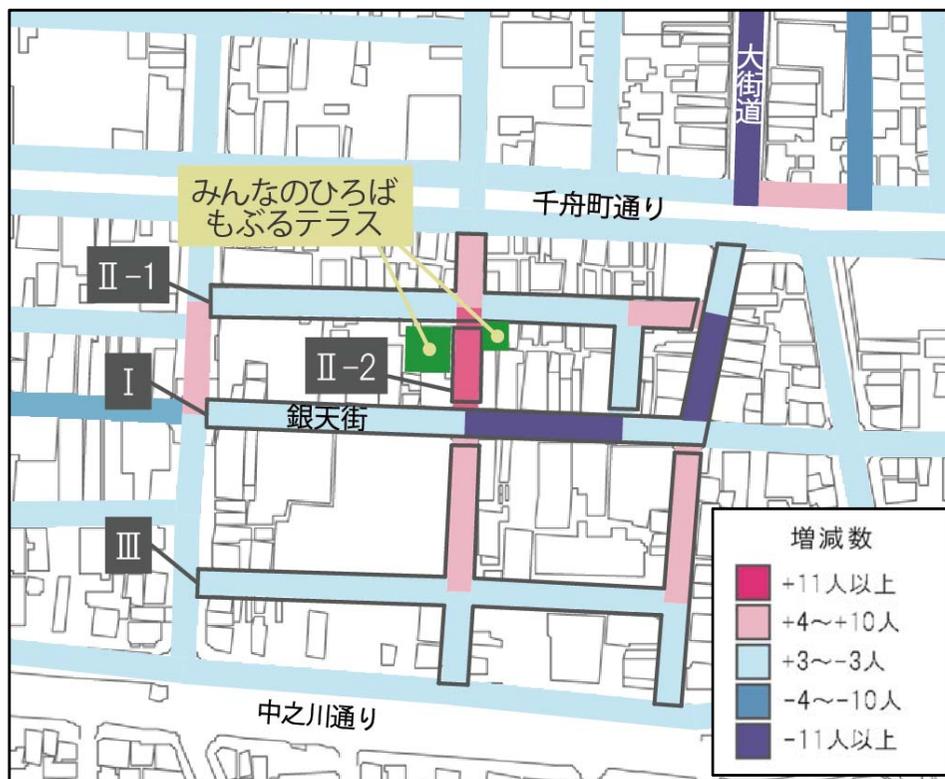


■ 効果検証① 【周辺道路の人通り】

周辺道路の人通りは、ひろば・テラスの設置前後で増加しました。

銀天街の北側の道路は3.5倍に増え、うち、ひろば前面道路は3.3倍に増えました。

周辺道路の人通りの増減
(平成29年と平成25年の人通りの差分)



周辺道路の人通りの増減
(左図の枠内の人通り数合計を記載)

	ひろば テラス なし 平成25年	ひろば テラス あり 平成29年	比
Ⅱ] 銀天街	213人	172人	0.8倍
銀天街の Ⅱ-1,2] 北側の道路	13人	46人	3.5倍
うち、 Ⅱ-2] 前面道路	9人	30人	3.3倍
銀天街の Ⅲ] 南側の道路	9人	17人	1.9倍

※「人通り」の調査方法：自転車に取り付けたビデオカメラで街路の状況を撮影し、道路上で歩いていたり立ち止まっていたりする人の数（＝歩行滞留者数）を計測
 ※平成25年：みんなのひろば・もぶるテラス設置前
 ※平成29年：みんなのひろば・もぶるテラス設置中

■ 効果検証② 【周辺住民からの評価 その1】

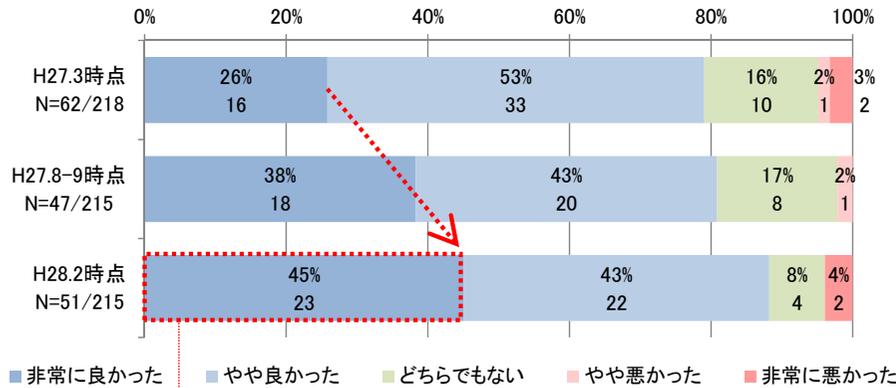
アンケート回答者のうち約5割が

「ひろば・テラスができて非常に良かった」と回答しました。

ひろば・テラスともに「子育て世代がまちで過ごすために重要」との回答が多いです。

問. ひろば・テラスができてどう考えるか

資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H27.8-9、H28.2)

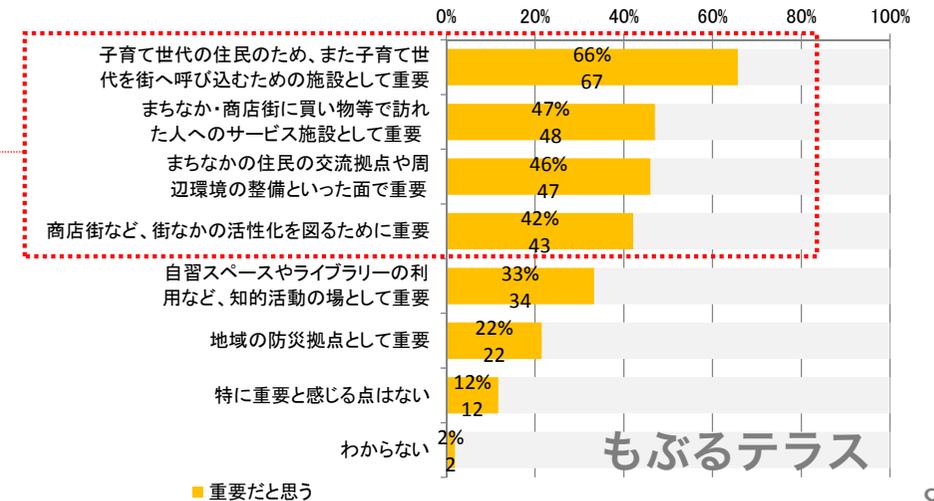
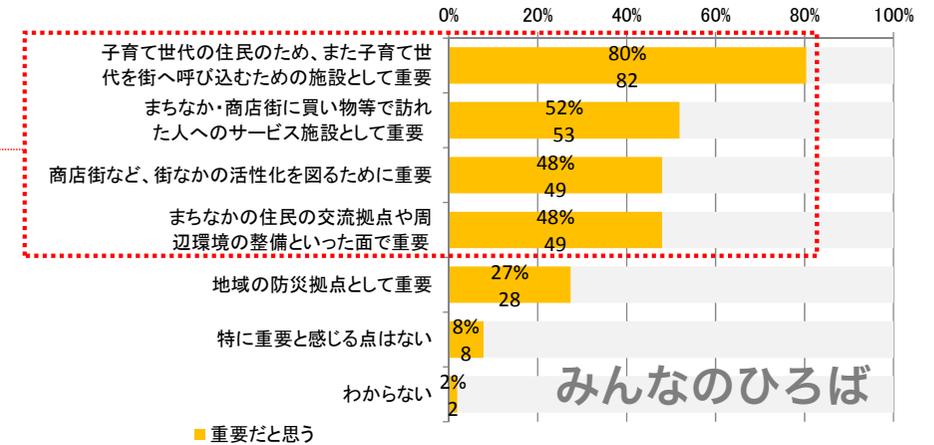


45%が「非常に良かった」と回答

「ひろば・テラスの意義」は、
「子育て世代の住民のため、また子育て世代を街へ呼び込むための施設として重要」が最多

問. ひろば・テラスは、どのような点から重要だと思うか

資料/周辺住民アンケート調査 (H31.1-2)



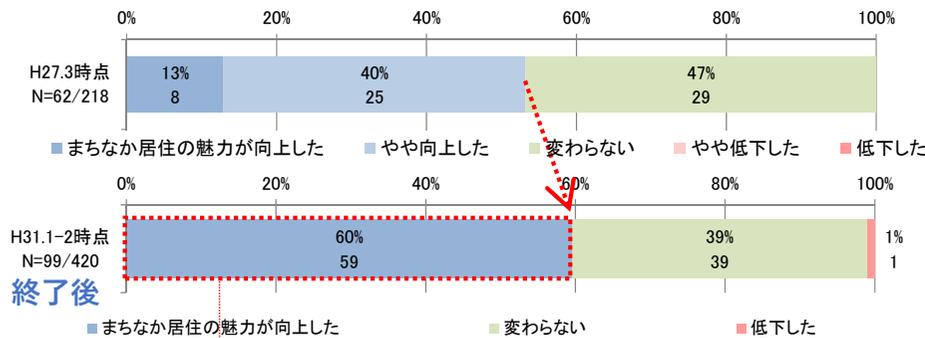
■ 効果検証③ 【周辺住民からの評価 その2】

アンケート回答者のうち約6割が「まちなか居住の魅力が向上した」と回答し、「まちなかでの滞在時間」や「外出頻度」が増えたと感じた方の割合が約4年間で2倍以上に増えています。

問. ひろば・テラスがあることで、あなたのまちに対する行動や意識に変化はあったか

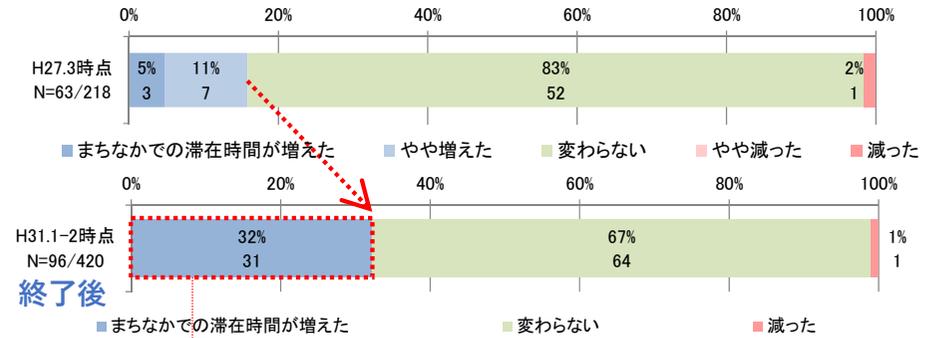
資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H31.1-2)

まちなか居住の魅力



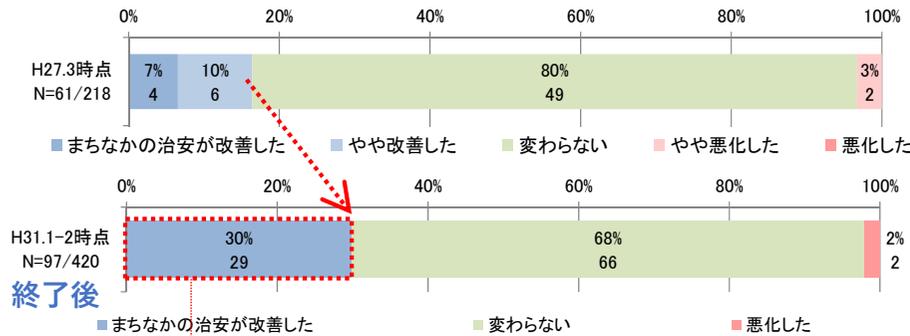
魅力の向上を感じた方は、6割に増加

まちなかでの滞在時間



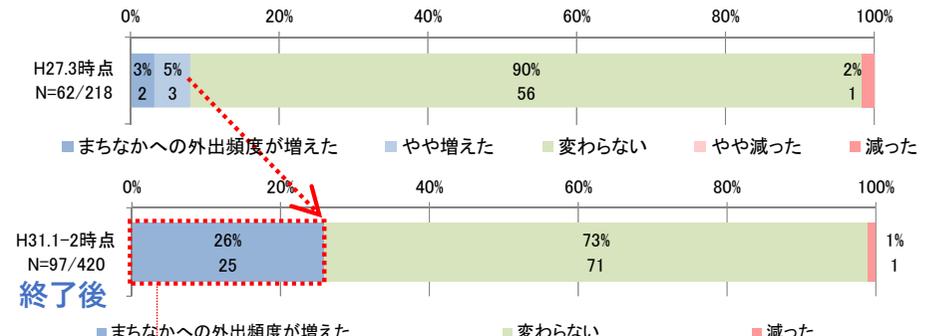
滞在時間が増えた方は、約3割に倍増

体感治安



治安の改善を感じた方は、3割に倍増

まちなかへの外出頻度



外出頻度が増えた方は、3倍超の約3割に増加

■ 結論 まとめの考察

結論1 | 賑わい再生の効果的・持続的な仕組みとして、効果がありました。

- ・周辺道路の人通りが3倍以上に増加しました。
- ・「飲食・物販イベント」「子ども向けイベント」が特に集客数が多く、このエリアの賑わいづくりに効果的だと考えられます。
- ・そのようなイベントを開催する一般の方々を増やしていくことが、運営団体の負担軽減につながり、持続的な賑わい再生に繋がると考えられます。

(一般の個人・団体のイベント開催率 → ひろば 約4割、テラス 約6割)

結論2 | 中心市街地の居住環境の改善に効果がありました。

- ・周辺住民アンケートの回答者のうち約5割が「ひろば・テラスができて非常に良かった」と回答し、少数ではありますが「駐車場の方が良かった」等の意見もありました。また、まちなか居住の魅力が向上したとする方が約6割いました。
- ・ひろば・テラスを重要とする理由は「子育て世代の住民のため」という回答が約7割で最多でした。
- ・ひろば・テラス周辺には緑地や街区公園が少ないことが影響していると推察されます。



もぶるテラスのクロージングイベントの様子

- 松山市HPで本編（詳細資料）を公開しています。

松山市HP「中心市街地賑わい再生社会実験事業」

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/toshikeikaku/Urbandesign/13850120141022.html>



- 松山アーバンデザインセンターでは独自に研究等を行い、成果をHPで公表します。

松山アーバンデザインセンターHP「中心市街地賑わい再生社会実験」

<http://udcm.jp/project/hiroba>

